

一所懸命 一緒懸命

岩手県山田町商業者の今 写真展

平成26年 3月11日(火)～3月20日(木) 加西市役所玄関ロビー



撮影：宮本 博文

写真提供：スタジオ栄光社
CALL0790.43.1450

東日本大震災より三年が経ちました。山田町は地震、津波、大火災で町の80%が被害を受け商業者の大半が店舗を失いました。「町の復興は商業から」愛する家族のため山田町のために残り、頑張る生き方を選んだ商店主にお会いすることができました。まちの中心地浸水エリア2～3haを盛り土、海拔5mにしそこに共同店舗を展開する。お客様が減少したうえに、高額な家賃と共益費。釜石市には大型ショッピングモールが、3月14日にOPEN。厳しい現実が待ち受けている。何年続けられるかわからないのに、借金するくらいなら山田を離れて県外の子どもの所に行こうか・・・迷う。仮設住宅から町営住宅へ入居要請が始まる。「支援から自立」へ向かう上で当然の費用負担だが・・・迷う。そんな中で、僕は後継者の存在を知ることができました。本人が決めたこと！両親のために、山田のために戻ってきました。家族の絆は、きっと町を助ける。『ひとつの所で一緒に懸命に生きること』それが明日に繋がることを強く感じることができました。